



ひらかわ 市議会だより

第19号

平成22年9月15日

発行

平成22年
6月定例会

155 平成
億 22
2 年
千 度
998 一
万 般
円 会
に 計
!! 予
算
総
額

目次

- ◆平成22年度第2回(6月)定例会(概要) 2
(審議した議案) 3～5
- ◆議決一覧表 6
- ◆市政に関する一般質問より(9議員) 7～12
- ◆議員研修視察報告 13～16
- ◆請願書・陳情書の出し方 17
- ◆議会の動き・編集室から 18

盛美園 (国指定名勝)

和洋折衷の幻想的な庭園と盛美館は、スタジオジブリ最新作品のイメージのモチーフとなっていると話題になり、今年の夏は大勢の親子連れが訪れ、にぎわいました。

発行：青森県平川市議会

編集：平川市議会広報特別委員会

〒036-0104 青森県平川市柏木町藤山25番地 6

TEL (0172) 44-1111 FAX (0172) 44-6988

メールアドレス：gikai@city.hirakawa.lg.jp



(原画 工藤哲彦)

【お知らせ】「市議会だより」はインターネットでもご覧になることができます。

平川市ホームページ <http://www.city.hirakawa.lg.jp/> →左側にあるメニュー一覧から「議会情報」→「市議会だより」からご覧下さい。

一般会計予算総額

155億2千997万8千円に！



初日に、会議録署名議員の指名を行い、会期を6月18日までの9日間と

定例会

第2回(6月)

平成22年第2回平川市議会定例会は、6月10日から18日までの9日間開催されました。

初日、議案の提案理由の総括説明を受けた後、各常任委員会に付託されました。

本定例会では、人事案件1件について原案どおり同意され、条例改正案3件、規約の変更案1件、財産の取得について2件、市道路線の廃止について1件、市道路線の認定について1件、平成22年度補正予算案1件、合わせて10件が原案可決となりました。

また、最終日に追加提案された、議員派遣の第1号から第3号まで（報告は13ページから16ページ）と、採択された請願書6件のうち意見書の提出を求める請願書4件については、意見書が提出されました。

定め、諸報告が行われま

した。

提出議案の総括説明の後、人権擁護委員の候補者の推薦について、全会一致で原案に同意しました。

提出された議案は、総務企画、建設経済、教育民生の各常任委員会にそれぞれ付託となりました。

平成21年度平川市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告と、専決処分した事項の報告並びに承認を求めること（平成21年度一般会計補正予算、国民健康保険

特別会計補正予算、老人健康保険特別会計補正予算、後期高齢者医療特別会計補正予算、平川市税

条例の一部を改正する条例、平川市国民健康保険

税条例の一部を改正する条例、平川市営駐車場の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について）について、専決

第1号から専決第7号までの専決処分した事項について、原案どおり承認されました。

5日目には常任委員会を開催し、6日目と7日目は9人の議員が、理事者側に対して一般質問を行いました。

最終日には、各委員会委員長が報告を行った後、平成22年度一般会計補正

予算案1件と条例改正案3件、規約の変更案1件など合わせて9件が原案どおり可決されました。

請願6件も

すべて採択され、うち意見書の提出を求める趣旨の請願4件については、議員提出は、議員提出議案として、意見書の提出議案4件が追加提案され全会一致で原案可決となりましたので、その後関係機関に意見書を提出しました。

議員派遣第1号から3号



【会期日程】

6月18日(金)	6月17日(木)	6月16日(水)	6月15日(火)	6月14日(月)	6月13日(日)	6月12日(土)	6月11日(金)	6月10日(木)
本会議	(議案整理のため休会)	一般質問	一般質問	常任委員会	(休会)	(休会)	(議案熟考のため休会)	本会議

までの3件の議員派遣議案についても、すべて全会一致で原案可決となりました。



人事案件

■人権擁護委員に

山下幸子氏
しやまのこうこ

人権擁護委員候補者の推薦について同意しました。

住所…平川市光城4

丁目25番地

氏名…下山 幸子

生年月日…昭和25年1月

11日

条例改正案

●平川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例の一部を改正する条例案（平成22年6月30日から施行、一部公布の日から施行）

育児休業、介護休業等育児又は介護を行う労働者の福祉に関する法律の改正に伴い、早出遅出勤務を改め、時間外勤務の制限を定め、及びその他所要の改正を行うため。

【委員会（総務企画）質疑】

問 職員の取得状況はどうなっているか。

答 平成21年度において、育児休業は女性2人、育児休暇は女性1人、配偶

者出産休暇は男性4人、育児参加休暇は男性1人、子の看護休暇は男性が2人、女性が4人という取得状況である。



子育ては夫婦でともに!!

●平川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案（平成22年6月30日から施行）

地方公務員の育児休業等に関する法律の改正に伴い、育児休業等を行うことができない職員、育児短時間勤務をすることができない職員及び部分休業をすることができない職員の範囲を改めるほか所要の改正を行うため。

【委員会（総務企画）質疑】

問 改正点の主な内容について。

答 子育ては夫婦ともに行うという考え方から、主に育児休業、育児短時間勤務、部分休業において、職員の配偶者が仕事に就いているかの有無にかかわらず取得できるように改正された。

●平川市工場等設置促進条例の一部を改正する条例案（公布の日から施行、一部平成22年4月1日から施行）

農村地域工業等導入促進法関係省令に規定されている固定資産税の課税免除が適用されなくなる

また、過疎地域自立促進特別措置法関係省令の一部改正に伴い、過疎地域における固定資産税の課税免除が適用される設備の取得期限が1年延長されたこと及び対象業種の変更により改正が必要となったため。

【委員会（建設経済）質疑】

問 ソフトウェア業を情報通信技術利用事業に改めるのは、業種の幅を広

げる意味もあるのか。

答 コールセンターなどは、ソフトウェア業に入っていないが、今回そういう業種も対象とするためである。

問 この改正により影響を受ける市内企業はあるのか。

答 今のところ、影響を受ける企業はない。



規約変更案

●青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合事務組合規約の変更について（平成22年4月1日適用）

構成団体である小川原湖広域水道企業団が平成22年3月31日をもって解散したことにより、規約の変更について関係地方公共団体と協議する必要があるため。

その他

●財産の取得について
消防ポンプ自動車1台
ほか取得するため。

◇取得する財産…消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ積載車2台
◇契約の相手方…青森市株式会社善知鳥防災代表取締役 荒川 猛
◇所得金額…3255万円

【委員会（総務企画）質疑】
問 次の議案と合わせて購入すれば、価格が低くなるのではないのか。

答 予算上「平成21年度の繰越明許費」と「平成22年度予算」であるので、制度上、一緒に購入するのは無理である。

問 消防自動車の配備先について。

答 消防ポンプは新屋、小型動力ポンプ積載車は沖館と新山に配備する。

●財産の取得について

消防ポンプ自動車1台
ほか取得するため。

◇取得する財産…消防ポンプ自動車1台、小型動力ポンプ積載車（軽自動車）1台



8月3日・4日に、平川ねぶたまつりが開催されました。

新たに市道路線を認定する。

◆路線番号 1252

◆路線名 猿賀遠林2号線

◆実延長 187・0メートル

◆幅員 6・9ㄱ5・0メートル

◆起点・終点 猿賀遠林83の1・猿賀遠林1の22

◆路線番号 1396

◆路線名 猿賀遠林4号線

◆実延長 47・0メートル

◆幅員 4・0メートル

◆起点・終点 猿賀遠林1の2・猿賀遠林1の2

【委員会（建設経済）質疑】

問 市道として認定した後、いつごろ工事に入るのか。

答 今月（6月）末に測量設計を委託し、その後工事に着手する。

問 幅員が6メートル未満のところも含まれているが市道として認定するのには問題はないのか。

答 道路を市に寄附する場合（6メートル未満）は、管理の都合上受けていないが、6メートル未満でも認定はできる。

補正予算関係

一般会計補正予算

155億2千998万円に！

■一般会計

予算の総額に、歳入歳出それぞれ6997万8000円を追加し、歳入歳出の総額をそれぞれ155億2997万8000円とする。

概要

歳入 県支出金の農業委員会費補助金101万8000円の追加。諸収入の移住・交流推進支援事業補助金200万円、東

北新幹線全線開業効果活用支援事業助成金として500万円、コミュニティ助成金として250万円を追加する。

歳出 総務費に移住・交流推進支援事業補助金200万円、農林水産費では、「冬の農業」省エネ施設等整備事業352万円、担い手育成・確保対策事業5557万6000円、商工費では東北新幹線全線開業効果活用支援事業149万3000円、教育費ではコミュニティ助成金として250万円を計上した。



【委員会（総務企画）質疑】
問 総務費一般管理費の報償費の内容について。
答 合併検証委員会の委員10名分の報償費である。

問 担い手・育成確保対策整備交付金の内容について。

答 農産物の生産、加工、流通、販売に必要な機械、または施設が対象となる補助金。補助対象となるのは、認定農家と集落営農組織の二つである。

問 歳入（雑入）の①自治総合センター助成金、②移住・交流推進支援事業補助金、③東北新幹線全線開業効果活用支援事業助成金の内容について。

答 三つとも宝くじの関係の事業で、①大坊町会コミュニティ事業で、

◇契約の相手先…弘前市笹消防資材 代表 笹孝
◇取得金額…2018万1000円

【委員会（総務企画）質疑】

問 消防自動車の配備先について。

答 消防ポンプ自動車は唐竹、小型動力ポンプ積載車（軽自動車）は井戸沢に配備する。

●市道路線の廃止について

猿賀地区の猿賀公民館東側宅地（現況道路）を市道敷地として取得し、

整備することから当該市道路線を廃止するため。

◆路線番号 1252

◆路線名 猿賀遠林2号線

◆実延長 157・1メートル

◆幅員 6・9ㄱ6・0メートル

◆起点・終点 猿賀遠林83の1・猿賀遠林55の4

●市道路線の認定について

猿賀公民館西側を猿賀遠林3号線道路改良事業として整備することから、



問 教育委託金の学力向上実践研究事業について。
答 県から市に委託された事業であり、今年度からである。新学習指導要領を円滑に進めるために、基礎的・基本的な知識を確実に習得させ、それらを活用して課題を解く思考力、判断力、表現力などの力を育むために、実践研究する事業となっている。

【請願の概要】

号	件名（ ）内は紹介議員名	請願者名	主 旨
1	井戸沢消防屯所建替えに関する請願書 （齋藤 剛、葛西清仁）	井戸沢町会長 谷川 信秀	平川市消防団第10分団第3部（井戸沢）消防屯所の建替えをしていただきたい。
2	乳幼児医療費助成制度の支給方法の改善を求める請願書 （齋藤律子、福士恵美子）	新日本婦人の会 平川支部長 工藤 久子	就学前までの子供の医療費を、病院の窓口で支払いがない現物給付（窓口負担なし）にしていきたい。
3	アメリカ産牛肉の輸入制限撤廃・緩和に反対する請願書 （齋藤律子）	国民の食糧と健康を守る 津軽地区連絡協議会 代表者 黒沼 利三	アメリカ産牛肉の輸入制限撤廃・緩和に応じないこと。輸入牛肉の条件違反があった場合には、輸入の全面禁止等直ちに対応することの2点について政府関係機関に意見書を提出していただきたい。
4	（※1）EPA・（※2）FTA推進路線の見直しを求める請願書 （齋藤律子）	国民の食糧と健康を守る 津軽地区連絡協議会 代表者 黒沼 利三	EPA・FTA推進路線を見直すとともに、日豪交渉を中止し、「アジア太平洋自由貿易圏（FTAAP）」による農産物の関税撤廃をおこなわないよう、政府関係機関に意見書を提出していただきたい。
5	りんご果汁・りんご加工品の原料原産地表示の義務づけを求める請願書 （齋藤律子）	国民の食糧と健康を守る 津軽地区連絡協議会 代表者 黒沼 利三	りんご果汁及びりんご加工品の原料原産地表示の義務づけを直ちに行うよう、政府関係機関に意見書を提出していただきたい。
6	備蓄米買い入れと米価の安定・回復を求める請願書 （齋藤律子）	津軽農民組合 代表者 平沢 健三	2008年産を含む30万相当の備蓄米を適正な価格で買い入れるよう、政府関係機関に意見書を提出していただきたい。

※1 EPA：Economic Partnership Agreement の略称で、「経済連携協定」と呼ばれている。FTAの内容に加えて「投資環境の整備」、「知的財産保護の強化」、「技術協力」等を含むさらに包括的な国際協定のこと。

※2 FTA：Free Trade Agreement の略称で、「自由貿易協定」と呼ばれている。国や地域同士で「輸出入にかかる関税」や「サービス業を行う際の規制」をなくすための国際的な協定。

～経済産業省「EPA/FTA活用入門パンフレット」～

上記6件の請願は、すべて採択となりました。
 請願第3号から第6号までの4件については、追加提案で議員提出議案第1号から第4号として、各請願の意見書の提出（案）が提案され、4件とも原案一致で可決されました。

6月21日付

で関係大臣宛に意見書を提出しました。

陳情書

（配布）

●「後期高齢者医療制度のすみやかな廃止を求める意見書」の提出を求める陳情書

青森県社会保障推進協議会

後期高齢者医療制度をすみやかに廃止し、もとの老人保健制度にもどすこと等の意見書を政府関係機関に対して提出していただきたい。

要望書

（配布）

●尾上農村婦人の家の道路拡幅の要望書

尾上町会長 小野 隆
南田町会長 石澤 清

現在、一般道から尾上農村婦人の家に入る道路は4メートルしかなく、緊急避難場所としての役割もあるので、幅員を6メートルに拡幅していただきたい。

平成22年度 第2回定例会

議 決 一 覧 表

議案 番号	議案名	本会議		常任委員会		
		結 果	備 考	付託先	結 果	備 考
【人事案件】						
49	人権擁護委員候補者の推薦について	原案同意	全会一致	付託省略	—	—
【条例案・条例改正案】						
50	平川市職員の勤務時間、休暇等に関する条例等の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
51	平川市職員の育児休業等に関する条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
52	平川市工場等設置促進条例の一部を改正する条例案	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
53	青森県市町村総合事務組合を組織する地方公共団体数の減少及び青森県市町村総合組合規約の変更について	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
【その他】						
54	財産の取得について	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
55	財産の取得について	原案可決	全会一致	総務企画	原案可決	全会一致
56	市道路線の廃止について	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
57	市道路線の認定について	原案可決	全会一致	建設経済	原案可決	全会一致
【補正予算案】						
58	平成 22 年度平川市一般会計予算案	原案可決	起立多数	総務企画	原案可決	起立多数
【議員提出議案】						
1	アメリカ産牛肉の輸入制限撤廃・緩和に反対する意見書（案）の提出について	原案可決	全会一致	付託省略	—	—
2	E P A ・ F T A 推進路線の見直しを求める意見書（案）の提出について	原案可決	全会一致	付託省略	—	—
3	りんご果汁・りんご加工品の原料原産地表示の義務づけを求める意見書（案）の提出について	原案可決	全会一致	付託省略	—	—
4	備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める意見書（案）の提出について	原案可決	全会一致	付託省略	—	—
【議員派遣】						
1	議員派遣について	原案可決	全会一致	付託省略	—	—
2	議員派遣について	原案可決	全会一致	付託省略	—	—
3	議員派遣について	原案可決	全会一致	付託省略	—	—
【請願】						
1	井戸沢消防屯所建替えに関する請願書	採 択	全会一致	総務企画	採 択	全会一致
2	乳幼児医療費助成制度の支給方法の改善を求める請願書	採 択	全会一致	教育民生	採 択	挙手多数
3	アメリカ産牛肉の輸入制限撤廃・緩和に反対する請願書	採 択	全会一致	建設経済	採 択	挙手同数 ※委員長採決
4	E P A ・ F T A 推進路線の見直しを求める請願書	採 択	全会一致	建設経済	採 択	挙手多数
5	りんご果汁・りんご加工品の原料原産地表示の義務づけを求める請願書	採 択	全会一致	建設経済	採 択	挙手多数
6	備蓄米買い入れと米価の回復・安定を求める請願書	採 択	全会一致	建設経済	採 択	挙手多数
【専決】						
1	平成 21 年度平川市一般会計補正予算	原案承認	全会一致	付託省略	—	—
2	平成 21 年度平川市国民健康保険特別会計補正予算	原案承認	全会一致	付託省略	—	—
3	平成 21 年度平川市老人保健特別会計補正予算	原案承認	全会一致	付託省略	—	—
4	平成 21 年度平川市後期高齢者医療特別会計補正予算	原案承認	全会一致	付託省略	—	—
5	平川市税条例の一部を改正する条例	原案承認	全会一致	付託省略	—	—
6	平川市国民健康保険税条例の一部を改正する条例	原案承認	全会一致	付託省略	—	—
7	平川市営駐車場の指定管理者の指定及び指定管理者の管理の期間について	原案承認	全会一致	付託省略	—	—
【報告】						
1	平成 20 年度平川市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について					



平成22年第2回（6月）定例会 一般質問傍聴席

市政に関する一般質問より

●6月定例会では、15日（火）と16日（水）の2日間にわたり、9人の議員により一般質問が行われました。
●ここでは質問及び答弁の内容を要約して掲載しております。

一般質問は、議員が行政全般にわたり、執行機関に対して事務の執行状況及び将来に対する方針等について質問を行い、定例会ごとに行われます。
議案の質疑とは別に通告が必要で、当市は、通告の受付順に一般質問を行っています。

1. 古川 敏夫 議員

〔一括質問方式〕

1. 福祉行政（健康づくりの推進）について
2. 地域活性化事業（電線地中化事業）について

2. 大川 登 議員

〔一括質問方式〕

1. 道路（第2光城団地内）の植栽管理について
2. 平川診療所の経営等について

3. 齋藤 剛 議員

〔一括質問方式〕

1. 閉校後（小国小中学校）の利用法について
2. 尾上農村婦人の家の通路について

4. 大澤 敏彦 議員

〔一括質問方式〕

1. 農業振興について
2. 通学路の安全確保（街灯）について
3. 学校給食（玄米給食導入）について

5. 齋藤 律子 議員

〔二問一答方式〕

1. 地域経済の活性化を目指す取り組みについて

2. 子宮頸がんの予防について
3. 非核平和都市宣言について
4. 平川市食育推進計画について

6. 齋藤 政子 議員

〔一括質問方式〕

1. 学校給食（地元農産物導入）について
2. ごみの減量化について

7. 工藤 竹雄 議員

〔一括質問方式〕

1. 平川市長期総合プラン基本構想について

8. 小野 敬子 議員

〔一括質問方式〕

1. 平川市の防災体制づくりについて
2. 国民健康保険の給付について

9. 福士 恵美子 議員

〔一括質問方式〕

1. 環境問題（本町南柳田）について
2. 職員の労働条件について
3. がん予防対策について

世界一の扇ねぶたの運行コースの無電柱化、早期着工に！

○福祉行政(健康づくりの推進) ○地域活性化事業(電線地中化事業)



古川 敏夫 議員

元氣あふれる健康づくりの推進

古川 「ひと・地域・産業がきらめく」平川市を目指すには、市民が心身ともに健康でなければならぬ。①市民の医療費について。②特定検診の受診状況と、異常があった場合の指導方法③今後の健康づくりの進め方。



には、保健師が個別指導を行っている。③保健協力員や食生活改善推進員等の研修を通じ、意識啓発や、適度な運動やバランスのとれた食生活を目的とした生活習慣改善プログラム事業を実施していく。

市長 ①国保の被保険者

に關しての医療費は、平成20年度で25億6048万3359円、11万2962件。平成21年度で26億1590万5453円。前年度比で件数は2.09%の減ではあるが、医療費では2.16%の増となっている。②平成21年度対象者40歳から74歳までで、8295人のうち受診者2648人で31.9%の受診率。コレステロールと血糖値で特定保健指導を行ったのは、全体で440人。健診を受けた全員に結果説明をし、特に異常がある人には、保健師が個別指導を行っている。③保健協力員や食生活改善推進員等の研修を通じ、意識啓発や、適度な運動やバランスのとれた食生活を目的とした生活習慣改善プログラム事業を実施していく。

平賀駅前中央商店街
通り電線地中化事業
のその後の経過を説明せよ

古川 駅前から100メートルが平成25年度までに完成する予定になっていたが、役所前までの約150メートルについて早期着工する取り組みはどうなっているのか。

市長 平成21年度から平成25年度までの第2期無電柱化推進計画に、平賀駅から葛西精肉店までの約100メートルが計上され、平成24年度以降に実施されるという県の情報があった。それ以降の区間についても、今年度も県に対する重点要望として行う予定である。

古川 世界一のねぶたの通路である市役所入口まで、県に要望して早期着工を目指していただきたい。

建設部長 県の第3期計画に含まなければならぬので、毎年重点要望をしていく。

第2光城団地に緑豊かな潤いある空間を！

○第2光城団地幹線道路植栽管理 ○平川診療所の経営等



大川 登 議員

道路の植栽管理は、
行政が行う責任がある
のではないのか

大川 平成10年度に販売開始となった第2光城団地の道路には、ネムノキがあったが、立ち枯れてしまい、切ったままで閑散とした町並みとなっている。失敗した植栽は行政の責任ではないのか。

市長 平成19年度、平成20年度に光城町会から立ち枯れたネムノキの撤去と植栽の要望があったが、公共施設の有効的な活用及び維持管理事務の軽減のため、指定管理者制度の導入を推進している流れから考えると、市で新たに管理をすることは好ましくないと考えている。今後は、地域コミュニティで景観の向上、維持に努めてもらいたいと返事をしている。今年度から、町会が行う街づくり事業に要する経費は、マイロード・マイタウン整備事業が予算計上されており、この事業を活用して、潤いのある空間を再現していただきたい。



歩道には、ネムノキのあった跡が残っている。現在、その近くにはプランターが設置されている。

たい。その際も、コミュニティ組織が維持管理することが条件となっている。

大川 維持管理には専門家のアドバイスがなければ、また同じことの繰り返しである。

建設部長 シルバー人材センターと連携を密に取りながら進めたい。

平川診療所の経営

大川 経営していくためには、外部の専門スタッフが必要であると考えているが、市長の見解を問う。

市長 経営改善を含め、今後の診療所のあり方については、市の施策の重点事項として、関係する部や課の職員によるプロジェクトチームを設置し、方向づけをしていくこととなっている。その中で、当然外部の医療専門スタッフの検討も、当然されることと思っている。

学校閉校後の施設の利用方法を早急に考えておくべき！

○小国小中学校の閉校後の利用法○尾上農村婦人の家の通路拡幅



齋藤 剛 議員

今年度で閉校する小国小中学校の利用をどう考えているのか

考えはないか。

市長 地域の核として重要な役割を果たしてきた小国小中学校が閉校となることは、大変残念である。地域の活性化につながるような施設への転換を含め、職員とともに検討して、提案を含めながら考えていきたい。

齋藤 平成10年に建築されたきれいな学校で、整備された校庭は見事である。解体するのももったいないので、老健施設や野菜工場等にするような

齋藤 市長がマニフェストにうたったように、雇用促進も考えるということなので、そういう利用も考えればと思う。使わなければ、施設はだめになっ

うので、これからのいい見本になるよう期待している。



尾上農村婦人の家に入る道路は、両側がブロックの壁でせまい。写真左側の土地が現在分譲中となっている。

尾上農村婦人の家の通路拡幅のため、土地取得を

齋藤 幅員が4メートル程度しかなく、公共施設の通路としては十分とは言えない。地区の避難場所に指定されていることから、非常時に緊急車両の出入りに支障をきたし、対応が遅れることが危惧される。要望書も提出されており、現在この通路南側に隣接する土地が分譲中であることから、早急に対応するべきではないか。そのうちに売却され、よその手に渡ってしまえば条件が悪くなるのではないか。

市長 通路の部分については、隣地の方の通路として利用する際に、旧尾上町との複雑な経緯があったようなので、十分調査した上で、問題の起こらないような対処の仕方をしたい。前向きに検討させていただきたい。

生産基盤を安定させる苗木の補植について補助継続を！

○農業振興○通学路の安全確保○学校給食



大澤 敏彦 議員

果樹経営安定対策事業の今後の考え方

大澤 当市の基幹作物であるリンゴの経営を安定させるには、生産基盤を安定させることが第一である。今年度で国の事業が終了するが、市単独で継続していく考えはあるのか。

市長 平成23年度以降については、国の方針がまだ決定していない。県りんご協会が国に要望書を提



出しており、市としても、直接この部分に関して農林水産大臣に要望書を提出している。また、2月に県知事、県議会議長、市長会代表（大川市長）、町村会代表、町村議会代表と一緒に、関係省に行って陳情している。

経済部長 耕作する側の支援は、名称が変わっても継続する場合はあるもので、市単独というのは、今のところ国の事業の推移を見てからとしか言えない。

事故や事件の起きる前に安全対策を

大澤 新館野木和町居線が整備され、東中学校生徒の通学路としても利用されているが、農園の間を通過しており、900メートルくらい街灯もない。街

灯や防犯等設置の考えはないか。

市長 路上に電柱等がなく、設置する場合、専用柱を立てなければならぬため、費用の見積もりをお願いしている。設置について検討していきたいと考えている。

玄米給食の導入について

大澤 千葉県野栄（のさか）中学校で玄米給食を導入し、生活・活動・成績面において成果を出している事例もある。栄養のバランスもよく、健康が、教育長の見解を問う。**教育長** 当給食センターの米飯システムは、玄米を使用した実績がない。また、保護者、生徒の理解を得られるかについても考えなければならぬ。科学的根拠に基づくものか検証し、情報を集めながらやっていきたい。

子宮頸がん予防ワクチン接種費用を公費負担で！

○地域経済の活性化(住宅リフォーム補助金) ○子宮頸がんの予防 ○非核平和都市宣言 ○平川市食育推進計画



齋藤 律子 議員

子宮頸がんの予防について

住宅リフォームに補助金制度を創設する考えは

齋藤 近年の経済情勢から、住宅建築が減り、大工さんは仕事がなく、大変厳しい状況にある。全国の自治体で、住宅リフォームに補助金を出す制度が注目されているが、当市で地域経済の活性化を図るため補助金を創設する考えはないか。

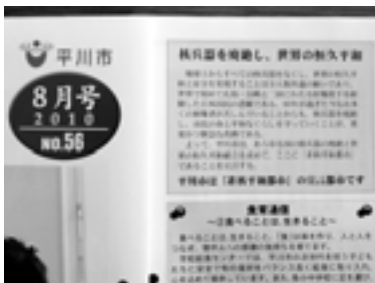
市長 大工さんに限らず、国保関係の部分で、収入が減っており、市全体の税収も減っている。大工さん方の気持ちは重々わかるが、近隣市町村の動向を見て考えた。

非核平和都市宣言のPRを行ったのか

齋藤 平成19年9月に平川市平和都市宣言に関する決議を満場一致で決めたが、看板・垂れ幕等で形にあらわすべきと思うが、市長の考えは。

市長 この宣言をしたことをどのように行動に反映させていくかが大事である。市民へのPRなど具体的なことは、もう少し考えさせていたきたい。齋藤 議会広報には掲載されたが、「広報ひらかわ」には載せたのか。

総務部長 8月という大切な日に掲載するというので、8月には実施したい。



広報ひらかわ平成22年8月号に掲載された

もつと学校給食に地元農産物の導入を！

○学校給食○ごみの減量化



齋藤 政子 議員

学校給食への地元農産物の導入

齋藤 ①現在どのくらい導入されているのか。②農産物を導入している業者数。③産直センターひらかの農産物を導入する考えはないか。

教育委員会事務局 ①平成20年度は、全体の賄材料費のうち7・9%、金額で1114万6000円が地元農産物。平成21年度は10・3%、金額で1452万円であり、尾上地区3小中学校が米飯給食に移行したためふえている。②平成21年度、平賀学校給食センターは6業者、尾上学校給食センターは7業者である。③当然、規格・数量・安全・安心などの条件があり、相当早い時期から見積もりが必要となるが、

より安心で、なおかつ安価な物を選択するという事になっている。積極的に参加していただければありがたい。

齋藤 必ずしも、産直センターひらかの物でなくても、地元産をもつと給食に取り入れてほしい。

話し合いはしたことはあるが、話にならなかった。教育委員会事務局 我々も地元産を活用したいのは同じ気持ちである。責任の所在や、納期に間に合わないと言われても困るので、その対応策や、農協がバックアップをしてもらえるのか、い

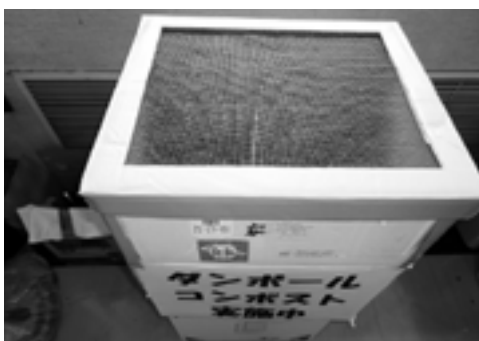
ろいろ手法はあると思うので、今後、具体的に話し合いをしていただきたい。

段ボールコンポストの普及について

齋藤 ごみゼロキャンペーンで配布している段ボールコンポストは、家庭の生ごみ処理に最適だと思うが、市としての考え方を伺う。

市長 資源の有効利用とごみの減量化に向けた取り組みとして、非常に効果的な手段の一つであると考えている。段

ボールコンポストで処理した物は、ガーデニングや家庭菜園等の肥料として使うことになっているが、活用が課題となっている。広報で周知するなど、市民に関心を持っていただけるよう努力する。



本庁舎2階市民課で、段ボールコンポストを展示中。興味のある方はぜひお立ち寄り下さい。

少子化に歯どめをかける施策の展開を！

○平川市長期総合プラン基本構想（重要事業の実績・少子化対策）



工藤 竹雄 議員

前期基本計画の重要事項の実績は

工藤 市民の希望と理想のため平成19年度から10年間の長期総合プランを策定しているが、前期基本計画は平成23年度までの5年計画である。この前期基本計画の重要事項の実績はどうなっているか。

市長 町村合併以降、積み残してきた課題も多く



平成19年度に策定された長期総合プラン。前期基本計画は5年間で、今後後期基本計画が策定される。

工藤 平成19年度に頑張る地方応援プログラムの施策実現に取り組み、3カ年で約7億9000万円、8事業を提案していたが、①成果と実績はどうであったか。②計画人口は達成可能であるか。③乳幼児医療費無料化の医療費助成金はいくらだったのか。④本人負担の額はいくらか。⑤義務教育の中学生まで無料化に

少子化対策プロジェクトの成果

あったが、昨年の国の補正予算による地域活性化交付金を活用し、実施計画に記載事業を前倒しで消化することにより、課題解決に臨んでいる。平成24年度（平成28年度）後期基本計画策定に向け、今年は前期基本計画の進捗状況と長期総合プランの全体の実績を検証していく。

市長 ①全国的に出生率が低下し続けている中で、ほぼ現状を維持してきたことは、一つの成果である。②現実には、人口は減少傾向にあるが、歯どめをかけることを目標に、雇用対策、少子化対策等により、その実現を目指している。③平成21年度の乳幼児医療給付事業の助成額は2978万8876円（うち2分の1は県補助）。④受診者負担額は24万5000円。⑤受診者負担の分と、7歳から15歳（中学生）まで拡大にかかわる市の負担は4500万円程度と想定している。また、無料の拡大により国保の調整交付金減額が予想され、財政状況を考慮すると困難と思われる。⑥金額を少なくして、第2子から支給できないかという意見もあり、財源等も含めて慎重に検討したい。

「災害は忘れたころにやってくる」日頃からの防災意識向上を！

○防災体制づくり○国民健康保険給付における問題点



小野 敬子 議員

防災計画書作成だけではなく、市民へ周知すべきではないか

小野 分厚い計画書を何人の人が読むのだろうか。この計画書の中から、いざという時に必要な事項、連絡等のわかりやすい組織図や、そのほか避難場所等のマップ、危機管理意識の啓発、防災知識を身につけ、防災に



対する心構えを示したものを各戸へ配布したり、避難場所の看板設置など、やるべきことはあるのではないかと。

市長 現在、避難場所等の周知については、ホームページと平川流域沿いの町会に配布している「洪水ハザードマップ」しかない。市民全体への周知をしていきたいと考えている。今年度、避難場所5カ所に表示看板を設置する予定で、今後も計画的に検討していきたい。また、印刷物で市民への周知をしていきたいと考えている。

海外渡航中に受けた医療の国保給付の問題点

小野 国保被保険者が海外渡航中に医療を受けた場合、一たん全額自己負担しても、国保担当窓口申請し、審査で決定すれば、自己負担分を除いた額が後で支給される。しかし、翻訳して提出するには情報が少なく、翻訳者のリストアップ情報や、翻訳料の負担を考えると、支給できないか。

市長 給付を受けることができる場合は、日本の基準での保険診療として認められた治療内容に限られている。翻訳等の費用は申請者が負担することになっているので、そこまで考えていない。全国的な課題であるので、今後働きかけをしていきたい。

市民の安全確保に、市として対策を！

○本町の環境問題○職員の労働条件○がん予防対策



福士 恵美子 議員

本町南柳田地区の環境問題についての対策

福士 ①廃車が10台以上放置され、道路が狭くなり、住民は緊急車両が入ってこれないと心配している。

②犬が多頭飼育されているが、放したりするので、他人の建物の前にふんをして、困っている。犬の登録をして、狂犬病予防接種をしているのか。

③ハトにえさを与えるため、たくさん住みつきふんが散乱している。隣近所の人たちは困っている。市の対策を伺う。

市長 ①平成元年から問題視されており、市は車の所有者本人に対し公害防止措置命令書を発し、撤去を求めてきたが、解決に至っていない。市民

の安全を確保するため、関係機関と相談しながら対処していきたい。②放し飼いの犬や、登録されていない犬について、今後、責任のある飼育をお願いするとともに、定期的な監視を行いたい。③どういうような方法が、一番効果があるのかを対応していきたいと思う。

職員の労働条件

福士 ①平成21年の年次休暇や病気休暇の取得状況。②時間外勤務手当の支給状況と振り替え状況。③昨年度から産業医を配置し、健康に関する相談を行ったようだが、相談回数、件数、内容（パワハラ・セクハラ含む）。④行政改革大綱で計画された職員数や人件費の実態。

市長 ①平成21年の年次休暇取得平均7・3日、病気休暇は延べ29人で、うち休職者6人。平成

22年4月末の病気休職者2人は、現在は試し出勤をしている。②平成21年度時間外勤務等命令は1万9912時間、うち時間外勤務手当支給7891時間で39・6%。振り替えの対応は1万2021時間でうち6割消化されている。③葛川診療所の木村医師を任命し、昨年度2回の健康相談を実施し、述べ13名が相談している。セクハラ・パワハラについては、ほかに各部署に相談員を指名し配置しているが、具体的な報告はなかった。④平成22年4月の目標値は、職員数452人、実績417人である。人件費は平成17年度から平成21年度までの削減効果額目標15億4800万円に対し、実績額は24億8700万円であり、9億3900万円の増である。



議会を傍聴してみませんか



定例会は

3月、6月、9月、12月に行われます

詳しくは議会事務局まで

電話 (0172) 44-1111

(内線 1510・1511・1512)

お知らせ ～平川市議会会派の動き～

◆平成22年7月30日に、田中友彦議員が親政会から退会しました。

会派別人数 (平成22年7月31日現在)

会派名	人数
親政会	13名
正進会	5名
無会派	6名(うち政党所属2名)

議員研修視察報告



コンニャクイモ畑

第1班

■研修期間■ 平成22年
6月29日(火)～7月1
日(木) 3日間

■派遣議員■ 大澤敏彦、
山田尚人、小野長道、
佐々木利正、工藤竹雄、
山口昇、對馬 實、齋藤
正明、葛西清仁、今井章
也、齋藤政子、木村兼由
田中友彦、古川昭二、佐
藤 雄、福士恵美子、小
田桐信勝 (17名)

■随員■ 議会議務局主
幹兼議事係長 清藤哲彦、
主査 長尾陽子

6月定例会で可決した議案第1号～3号までの議員派遣について概要を報告します。各班でテーマを決め、企画を練った研修は得るものが多く、今後の活躍が期待されます。

企業の農業経営について

■研修先■ 農業生産法人グリーンリーフ(株)、(株)野菜くらぶ 群馬県利根郡昭和村

■目的■ 契約栽培で出荷できないものを加工し、付加価値を高めて収益を上げる努力をしているグリーンリーフと、新規就農者を支援する「独立支援プログラム」を実施している野菜くらぶの企業の農業経営について研修視察し、当市の農業ビジョンの参考とする。

結果

【契約栽培】主に外食産業(モスバーガー)との契約栽培を行っている。(外食産業は、価格の変動がないので、安定した価格で続けてもらうことに価値がある。)

契約栽培は、相場に左右されないもので、農家が安定した経営ができる。年間を通した野菜の提供ができるように、静岡県、群馬、青森県(平成19年から)の連携で、安定した価格を維持している。

売り上げ内訳			
ネットワーク(グリーンリーフ、野菜くらぶ、サングレイス)全体	20億円	生野菜	14億円
		加工品	こんにゃく 3億円
			漬物 3億3,000万円
			冷凍野菜 7,000万円

年間の契約については、年に2～3回しか価格の見直しを行っていない。【研修受け入れ、独立プログラム】農業フェアで、将来自分で農業をやりたい人を募集する。体力的なことや、経済的な金銭感覚など、採用までの半年間いろいろ話し合う。生産者に1年から2年研修し、技術的な面(トラクターの運転、苗の植え方など)を学ぶ。生活できる分の給料も支給される。

黒石市沖揚平では、独立支援プログラムで新規就農した山田さんが活躍しており、地元の生産者との協力体制を得て成功している。

【有機栽培】肥料や農法は、特別特殊なものではなく、有機質肥料を使用しており、ボルドー液(有機材)など、使用できる農薬は使っている。

◆有機栽培で行っている野菜

- ・コンニャクイモ
- ・ホウレンソウ
- ・コマツナ
- ・ニラ
- ・白菜
- ・ブロッコリー
- ・タマネギ

【今後】冬の野菜が少ないので、南の地域で適地適作を目指す。

産地直送での、農産物の安定供給体制づくり。就農者をふやし、農業をやりたい人が素直にできる環境づくりを目指し、全国で活躍して、会社の理念を地域や次の世代につなげていく。

■感想等■ 契約栽培は、計画の確実性と信頼、記帳等の事務作業が求められるが、達成できれば農家の経営安定につながる魅力ある方法だと言える。



▶写真左は、青森県浪岡出身の伊藤君。ただいま研修中。



▲経営理念



▲研修の様子

米の新たな需要拡大について

■研修先 ■ ㈱波里（なみさと） 栃木県佐野市

■目的 ■ 米の生産調整について「減反政策」から「水田フル活用」へと転換し、水田を有効活用できる米粉用の米等を推進するため、微細製粉技術の向上と用途別の米粉提供に積極的に取り組んでいる工場を視察し、米の新たな需要拡大や、転作物としての活用役立てる。

■結果■

【米粉とは】従来、米粉として知られているのは、上新粉、上用粉、もち粉、白玉粉など、主に和菓子の用途である。近年上新粉や上用粉を、さらに微粉砕した粉のことを、一般的に米粉（こめこ）と呼び、さまざまな用途に向ける研究開発が進められている

粒の大きさ	
上新粉	100～150μm
米粉（こめこ）	40～50μm （小麦粉とほぼ同程度）

【米粉の特徴】

- ・小麦粉に比べて水をよく吸うため「しっとり」している。

- ・グルテン（粘りのもと）がないので、小麦粉より油を吸わず、カロリーが抑えられるので、天ぷらなどに使うと、時間がたつても、「サクサク」「カリッ」とが長持ちする。

- ・でん粉の消化速度が遅いので、腹持ちがよい。
- ・小麦アレルギーの人も食べられる。

【米粉普及の課題及び方向性】

- ・小麦粉と米粉の価格差低減（品質改良。生産者、穀粉業者、流通業者等、みんなで取り組むべき課題）

- ・米粉専用米の生産による安定した原料供給
- ・小麦粉代用用途ではなく、米粉の特徴を生かした新たなカテゴリー食品の開発
- ・家庭に常備してもらえ専用粉・ミックス粉の開発

【米粉の新規需要】パン、麺用等について、国

米粉パンの学校給食導入状況

	H16	H17	H18	H19
米粉パン学校給食導入校数	4,067校	6,063校	7,836校	8,067校
給食実施校数	31,902校	31,662校	31,476校	31,362校
米粉パン導入の割合	13%	19%	25%	26%

（農林水産省調べ）

■感想等■

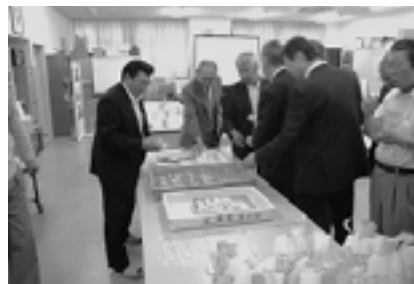
- ・米は小麦よりかたいので、小麦と同じ方法では、粉にならない。米粉でパンをつくるのは、粒しぼんでしまうのは、粒の大きさが原因であった。かたい米を微粉砕する製粉機械の革新的な技術進歩により、米粉製造が可能となった。
- ・一般的に米粉と言って

は米粉の利用促進を図っており（米穀の新たな用途への利用促進に関する法律、平成21年7月1日施行）、これまでの中小企業に加え、大手企業も取り組み始めたことから、原料米使用量は、平成20年度推計で約9000トンになることが予想される。

も、用途によって粒子の細かさも違うので、従来の「すりつぶし」ではなく、最新式の機械を導入し、米と米を攪拌させ、お互いがぶつかり合うことで、風味や甘みを最大限損なわれないように製粉している。

- ・当市も原料の米はいくらでもあるし、減反の田に米粉用の米もつくれる。食料自給率向上のためにも、米粉の普及に取り組むべきと思う。
- ・米が余っていると言いつつ、小麦と比べると価格の差があり、小麦と同様の商品を開発しても少し割高になっている。
- ・米粉製造工場は、大小合わせて国内に約200社あるそうだ。米粉の2分の1は外国から輸入しているということにはびっくりした。
- ・世界的食糧不足を考えると、輸入小麦に依存した食生活を、米余りの現在、農家である我々が再認識するのは当然のことである。
- ・試食したパンは、小麦粉製品と区別がつかないほどである。学校給食にも地産地消を目指し、取

▼米粉で作ったパンを試食



り組めればと思う。

- ・米粉製品は、腹持ちもよく小麦アレルギー対策として見直されている。中央や大手に頼らず地元でできないのか、検討が必要であると思われる。



▲研修の様子

▲高崎市で試食したJ（米粉）麺



第2班

■研修期間■ 平成22年
7月6日(火)～7月11
日(日) 6日間

■派遣議員■ 成田敏昭、
齋藤 剛、小野敬子、大
川 登 (計4名)

少子・超高齢社会 における幼老統合 ケアについて

■研修先■ 社会福祉法
人江東園 東京都江戸川
区

■目的■ 保育園と老人
福祉施設を一緒にした施
設は全国でも例がなく、
費用対効果やケアの質の
向上、高齢者の生きがい
づくり、教育的効果など
「幼老統合ケア」につい
て学んで、地域に生かす
ことを目的とする。

■結果■

【江東園】
老人福祉法が制定さ
れる前の昭和37年に始ま
り、昭和51年に保育園を
併設した。当時、保育園



江東園のパンフレットより

ラムもあり、ま
た逆に、お年寄
りの世話をする
ヘルパーも、習
つていないこと
が多く、不安を
持つ両者にとつ
て、一番いい方
法を何度も話し
合いながら、試
行錯誤を重ね、
やっと今の形が
できた。

■感想等■

0歳から101歳

と老人福祉施設を一緒に
した施設は、全国に例が
なく、厚生省(当時)と
我慢強い交渉の末、やつ
と同じ建物内に両施設を
つくる認可がおりた。

そのほか、知的障害者
通所更生施設もあり、こ
の施設自体が一つの社会
として、さまざまな人が
いて、同時にお互いが必
要とされ、「心のバリア
フリー」を目指す施設で
ある。

【経緯】

保育の専門教育を受け
た保育士は、子供たちの
生活を中心に考えると、
お年寄りと一緒に「受
け入れがたい」プログ

の大家族の中で、障害が
ある人や、肌の色の違い
も、車椅子の人も、幼児
期から違和感なく、自然
に受け入れることの教育
効果は、計り知れないも
のがある。

少子・高齢が進むこの
国において、幼いころか
らの、日常のコミュニケ
ーション不足が、さまざ
まな形で人間形成にも影
響があると思われる。「幼
老統合ケア」の果たす役
割は、計り知れないと思
う。お年寄りと幼児が一
緒に暮らす形には、現代
人が求めているものや、
多くのヒントが込められ
ているように思える。

6次産業について の考え方と進め方

■研修先■ 6次産業セ
ンター 長野県小布施町

■目的■ 付加価値と雇
用の創出を目指す6次産
業について、その考え方
や進め方を学び、地域の
活性化につなげることを
目的とする。

■結果■

【小布施町】

長野県北部の長野盆
地に位置し、周囲を千
曲川など三つの川と雁
田山に囲まれた自然豊か
な平坦な農村地帯。人口
1万2000人弱、総面
積19・07平方キロメー
トルで役場を中心に半径2
キロメートル以内にはと
んどの集落が入る小さな
町。住民同士がお互いに
顔を知りあえる相識圏が
形成されている。

【振興公社】

町長が社長を務める財
団であり、その中に6次
産業センター、直売所「小
布施屋」、フラワーカー
デン小布施などがある。
6次産業センター内の加

工所でジュースの加工は
するが、手数料をもらう
だけで、販売には関与せ
ず、農家は「小布施屋」
で販売する。直売所は
町内に3カ所あり、農家
の販売額は、直売所だけ
で800万円を超える人もい
る。

【6次産業の考え方と進 め方】

基本的に1次産業がし
っかりしていないと6次
産業はうまくいかない。
加工品があふれるほどあ
り、安心・安全が当たり
前の時代の中で、都心の
高級レストラン、一流ホ
テル等に小布施の材料を
使ってもらう営業を仕掛
けている。ひたすら「信
州小布施」という名をお
客様に印象づける。加工
品も「小布施産」を強調
してもらい、小布施に行
ってみたいと思わせる。

観光客がふえても、栗の
木やリンゴ園のある、何
もない農村の風景が、一
番の売り物である。また、
振興公社でシャトルバ
ス(土日・祝日・行楽シ
ーズン)を出している。

■感想等■

6次産業という言葉



が生まれる前に、6次
産業化を目指した取り組
みをしていった。地域資源
を掘り起こし、多様に組
み合わせることで、その
地域の魅力が際立つ。歴
史を語り、農村を魅力的
に情報発信していくこと
が、観光までつながるこ
とが6次産業化というこ
とだと思ふ。

さらに、農業がその
主体性を保ちながら、2
次産業、3次産業の付加
価値を確保しつつ、総合
産業として変わっていく
ば、若者の農業に対する
見方も変わってくるので
はないか。

今回の研修では、平川
市の魅力的な資源につい
て、改めて考える機会と
なった。

第3班

■研修期間■ 平成22年
7月13日(火)～7月15
日(木) 3日間

■派遣議員■
齋藤 律子 (計1名)

葉っぱがお金に!!

葉っぱビジネスの 取り組み

■研修先■ 株式会社い
ろどり 徳島県勝浦郡上
勝町

■目的■ 地域資源を生
かし、料亭などで使う「つ
まもの」の流通(葉っぱ
ビジネス)を視察し、地



(上勝町のホームページより)



J A東とくしま上勝支所

域活性化を図るにはどう
したらよいかを学ぶ。

■結果■

【徳島県上勝町】

人口2000人弱、高
齢化率49・7%、山間に
集落が点在する徳島県
で、一番小さな町。

【株式会社い ろどり】

標高200メ
ートルに位置
するいろどり
は、徳島駅前
からバスを乗
り継ぎ、片道
2時間の場所
にある。横石
社長を除く7
名の社員は、
全員他県から
の移住者で構
成され、葉っ



栗、松、笹、もみじ、南天のパック詰め

ばを出荷する農家へ、市
場の情報などを提供して
いる。

【経緯】

29年前、マイナス13度
の寒波で、主体のミカン
が枯死し、失望のどん底
にいた被害農家に、活力
を与えたのが、当時農協
の営農指導員だった横石
氏であった。

当時、料亭の日本料理
の添え物の葉っぱに感動
するお客さんの反応を見
て「これだ」と思い、農
家に提唱したが、最初は
相手にされなかった。

【現在】

当初4戸だった農家
から、現在は194戸に拡
大され、葉っぱの種類も

320種類を扱っている。80
歳代の高齢者が、年間
1000万円の売り上げ
となるまでのビジネスに
成長した。葉っぱの出荷
に忙しい高齢者は、医者
にもかからず健康で、医
療費は徳島県下で一番低
いとのことである。

■感想等■

町内は空き地がなく、
さまざまな木が育てら
れ、自然林と合わせて、
上勝町は正に宝の山だっ
た。平川市にも気づかず
にいる宝の山がどこかに
あると感じた視察であっ
た。

食育と学校給食、 農との連携

■研修先■ 南国市教育
委員会 高知県南国市

■目的■ 地域密着型の

学校給食による食文化の
再生・復活などの取り組
みを学び、平川市の食育
と農、学校給食に生かす
ことを目的とする。

■結果■

【高知県南国市】



南国市役所

【学校給食の効果】
◇食べ残しゼロ
◇中山間の農業振興
◇朝食欠食率の低下
食育を通じて学力向上
を目指している。

■感想等■

今年の4
月に幼保支援課を立ち上
げたことなどを聞き、教
育の真ん中に食育を据
え、さらに取り組みが進
んでいることが伺えた。

食育は、食文化の再生
と向上、終わりのなき挑
戦である。輝く明日への人
づくりであること。ゴー
ルもなければ終着駅もな
いという学校教育課正木
課長のしめくくりの言葉
がストンと胸に落ち、今
後の平川市の、食育推進
の鍵を握る言葉のような
気がした。

【学校給食】

13校の小学校で、自校
方式で3100食を実施
している。

【これまでの取り組み】

◇中山間の棚田の米を給
食に取り入れる
◇棚田での田植えと稲刈
りの実施(米づくり親子
セミナー)
◇電気炊飯器での米飯給
食実施
◇小学校ごとの食育教育
◇食育フォーラム
◇食の自立を目指した弁
当づくり
◇学校給食から市民へ
◇小中学校の連携
◇産地間交流
◇給食デザイナーの開発



学校教育課 正木課長から説明を聞く。

【記入例】

平成 年 月 日

平川市議会議長（氏名） 殿

請願（陳情）者 住 所 氏 名

紹介議員 氏 名

④ ⑤

〇〇〇に関する請願（陳情）書

【請願（陳情）の要旨】

【理 由】

請願書・陳情書の出し方

請願書・陳情書の書き方、留意事項は次のとおりです。

- ① 請願書（陳情書）はその要旨、理由を簡単に、分かりやすく書いてください。
- ② 提出年月日、請願（陳情）者の住所、氏名（法人の場合は、その名称及び代表者氏名）を書いて必ず押印してください。
- ③ 請願の場合は、一人以上の紹介議員が必要になります。紹介する議員は、署名または記名押印をしてください。紹介議員が付かないときは陳情書としてください。
- ④ 道路等は簡単な地図・略図・図面等をつけてください。
- ⑤

ようこそ平川市へ

（行政視察受入）

7月14日に宮城県山元町議会産業建設常任委員会5名の委員の視察訪問を受け入れました。



7月28日に栃木県佐野市議会平成市民の会1名の議員が、子ども読書活動推進計画等について当市を視察に訪れました。（写真は図書館内を説明しています）



おわびと訂正

ひらかわ市議会だより第18号（平成22年6月15日発行）

7ページ下の平成22年度一般会計当初予算の【歳出】の一覧表において、「比較」の数値が、【歳入】と同じ数値で掲載され、下記のとおり訂正します

【誤】

【歳出】	（単位：千円、%）			
	本年度予算額	前年度予算額	比 較	
議会費	175,490	173,368	△ 2,279	△ 0.1
総務費	2,000,565	2,048,033	△ 36,000	△ 14.3
民生費	5,032,211	4,281,608	0	0.0
衛生費	942,753	976,570	△ 1,400	△ 82.4
労働費	141,262	31,489	△ 200	△ 50.0
農林水産業費	783,998	715,172	△ 57,000	△ 19.0
商工費	452,775	257,745	0	0.0
土木費	1,277,799	1,336,394	△ 8,000	△ 14.3
消防費	688,414	708,211	17,492	63.6
教育費	1,192,542	1,180,941	200,000	2.6
災害復旧費	26,903	27,023	0	0.0
公債費	2,685,288	3,083,446	329	0.2
予備費	60,000	60,000	△ 13,016	△ 9.4
歳 出 合 計	15,460,000	14,880,000	580,000	3.9

【正】

比 較	
2,122	1.2
△ 47,468	△ 2.3
750,603	17.5
△ 33,817	△ 3.5
109,773	348.6
68,826	9.6
195,030	75.7
△ 58,595	△ 4.4
△ 19,797	△ 2.8
11,601	1.0
△ 120	△ 0.4
△ 398,158	△ 12.9
0	0.0
580,000	3.9

＊ 議会の動き ＊

平成22年

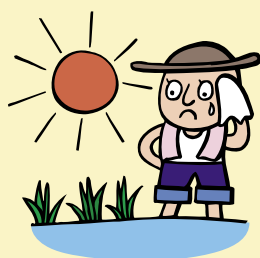
- 6月2日 平成22年度国道7号整備促進期成同盟会通常総会に議長出席（弘前市）
平成22年度津軽地域河川・道路整備意見交換会に議長出席（弘前市）
- 3日 議会広報特別委員会
- 4日 議会運営委員会
- 19日 平成21年度NPO法人平川市体育協会通常総会懇親会に議長出席
- 25日 平川市防犯協会通常総会に議長ほか出席
- 28日 平成22年度平川市物産協会通常総会に副議長出席
- 7月2日 納涼特別企画「生ビールまつり」に議長出席
- 4日 東京津軽平川会第4回（平成22年度）総会に議長出席（東京都）
- 7日 平成22年度平川市「社会を明るくする運動」及び「青少年の非行・被害防止全国強調月間」市内学校巡回訪問出発式に議長出席
- 14日 宮城県山元町議会行政視察受入に議長対応
- 15日 平成22年度国道454号整備促進期成同盟会要望活動に議長出席（青森市）
- 16日 第65回市町村対抗青森県民体育大会平川市選手団結団式に副議長ほか出席
- 18日 第2回平川市民運動会に議長ほか出席
- 21日 夏の交通安全県民運動早朝街頭指導に議長出席
- 23日 ふれあいタウンひらか納涼まつりに議長ほか出席
- 25日 第54回平川市連合獅子踊保存会大会に議長出席
- 28日 栃木県佐野市議会行政視察受入
- 31日 北限に観る蓮の花まつり開会式に議長ほか出席
- 8月1日 第65回市町村対抗青森県民体育大会の解団式に議長ほか出席
- 3日 平川ねぶたまつり2010開会セレモニーに議長出席
- 4日 平川ねぶたまつり2010表彰式に議長出席
- 5日 第37回おのえねぶた合同運行表彰式に議長出席
- 6日 津軽南市町村議会連絡協議会事務局長会議に局長出席
- 8日 第5回平川市小学生水泳競技大会に教育民生常任委員会委員長出席
- 10日 第37回おのえねぶた祭り反省会に議長出席

- 10日～11日 青森県市議会議長会事務局長会議（研修会）に局長出席（むつ市）
- 11日 黒石警察署殉職警察官偲ぶ会に議長出席（黒石市）
- 15日 碓ヶ関御関所祭りに副議長ほか出席
- 16日 第30回県下登山獅子競技平賀大会に議長出席
- 18日 平成22年度平川市戦没者追悼式に議長出席
- 19日 平成22年度津軽南市町村議会連絡協議会第1回総会に議長、副議長、事務局長出席（田舎館村）
- 23日 議員全員協議会
- 24日 議会広報特別委員会
- 25日 弘南鉄道活性化支援協議会総会に議長出席
- 31日 平成22年度第2回平川市地域公共交通協議会に議長出席

7月31日から8月8日まで開催された第2回「北限に観る蓮の花まつり」と合わせて行われたフォトコンテストの作品です。



【朝の輝き】



（ツシマ）

◆連日の猛暑で良い人もいれば、悪い人もいます。

◆特に人間の場合・・・

熱中症が過去最高で、亡くなった人も最高の記録となっているとの報道がなされている。

◆また、エアコンが品切れで、物があっても、取付工事に2週間も待たなければならぬなど、いろいろな障害が出ている。

◆当市の基幹産業である農業にも、高温障害の影響が懸念されるところですが、この広報が発行される頃には、農作業の真最中であり、それまでこれ以上の影響がなければと念じる。

編集室から